

複合原子力科学研究所におけるビーム利用を中心とした

次期中性子源の検討 I ワークショッププログラム

日時：2018年12月26日（水） 10:30～17:30

場所：京都大学複合原子力科学研究所 事務棟大会議室

10:30-11:00 日野正裕（京大複合研）「ワークショップ趣旨説明・中性子集光光学開発」

11:00-11:30 田中浩基（京大複合研）「BNCT 加速器中性子源 (C-BENS) の現状と今後」

11:30-12:00 田崎誠司（京大工）「KUANS での最近の進展」

12:00-12:30 広田克也（大阪大 RCNP）「名古屋大 NUANS の現状」

昼食：12:30-13:30

13:30-14:00 大竹淑恵（理研）「理研における小型中性子源の取り組み
—RANS から現場導入タイプへ—」

14:00-14:30 山形豊（理研）「メチルベンゼンを用いた小型中性子源用の冷中性子源の研究開発」

14:30-15:00 加美山隆（北大工）「北海道大学中性子源施設のリニューアル」

15:00-15:30 木野幸一（産総研）「産総研設置中性子装置でのハイパワー電子ビーム使用に関わる対応状況」

休憩：15:30-15:45

15:45-16:15 高橋俊晴（京大複合研）「複合研電子ライナックの多目的利用」

16:15-16:45 堀順一（京大複合研）「KURNS-LINAC パルス中性子源を用いた核燃料関連研究の今後の展開」

16:45-17:30 総合討論

「複合原子力科学研究所次期中性子源開発」について